

日本・韓国 航空関係

1.航空協定：1967年(昭和42年)5月16日 署名
1967年(昭和42年)8月30日 発効

2.現行運航路線及び便数

日本航空			
東京 = ソウル	B747	週	10 便
	B767	週	7 便
	DC10	週	3 便
	B772	週	1 便
大阪 = ソウル	B747	週	7 便 6月まで2便、7,9月は6便
	DC10	週	0 便 6月まで4便
名古屋 = ソウル	B767	週	7 便
福岡 = ソウル	B767	週	7 便
小松 = ソウル	B767	週	4 便
広島 = ソウル	B767	週	3 便
東京 = 釜山	B767	週	4 便 5月まで5便
	DC10	週	1 便 5月まで2便
	B772	週	2 便 7月から
大阪 = 釜山	B772	週	7 便
名古屋 = 釜山	DC10	週	4 便
	旅客小計	週	67 便
東京 - ソウル - 大阪	B747F	週	2 便
	貨物小計	週	2 便
	JL計	週	69 便
全日本空輸			
東京 = ソウル	B763	週	7 便
大阪 = ソウル	B763	週	7 便
	旅客小計	週	14 便
	NH計	週	14 便
日本貨物航空			
東京 = ソウル	B747F	週	2 便
東京-ソウル-大阪	B747F	週	1 便
	KZ計	週	3 便
	日側企業旅客便合計	週	81 便
	日側企業貨物便合計	週	5 便
	総合計	週	86 便
大韓航空			
ソウル = 東京 = ロサンゼルス	B772	週	7 便
ソウル = 東京	B744	週	21 便
釜山 = 東京	A306	週	10 便
済州 = 東京	A306	週	4 便
ソウル = 大阪	B744	週	2 便
	A333	週	19 便
釜山 = 大阪	A333	週	7 便
済州 = 大阪	A306	週	4 便
ソウル = 福岡	B744	週	1 便

	A333	週	10	便
釜山 = 福岡	A333	週	3	便
ソウル = 名古屋	B744	週	6	便
	B773	週	1	便
釜山 = 名古屋	A333	週	4	便
済州 = 名古屋	A306	週	3	便
ソウル = 岡山	A333/A332	週	3	便
ソウル = 新潟	B739	週	5	便
ソウル = 札幌	A333	週	5	便
ソウル = 青森	B737	週	3	便
ソウル = 鹿児島	A330	週	3	便
ソウル = 大分	B738	週	3	便
ソウル = 長崎	B738	週	3	便
ソウル = 秋田	B737	週	3	便
	旅客小計	週	130	便
ソウル = 東京 = ロサンゼルス	B747F	週	1	便
ソウル = 東京	B747F	週	2	便
ソウル = 大阪	B747F	週	3	便
	貨物小計	週	6	便
	KE計	週	136	便

アジアナ航空

ソウル = 東京	B747-combi	週	5	便
	B772	週	5	便
	B763	週	11	便
	A321	週	7	便
ソウル = 大阪	B763	週	14	便
	A321	週	7	便
釜山 = 大阪	A321	週	7	便
済州 = 大阪	B734	週	2	便
ソウル = 名古屋	B763	週	11	便
ソウル = 福岡	B763	週	7	便
釜山 = 福岡	B734	週	2	便
済州 = 福岡	B734	週	5	便
ソウル = 仙台	B763	週	7	便
ソウル = 福島	A321/B763	週	3	便
ソウル = 広島	A321	週	5	便
ソウル = 富山	B737	週	3	便
ソウル = 高松	A321	週	3	便
ソウル = 那覇	A321	週	3	便
ソウル = 松山	A321	週	3	便
ソウル = 宮崎	A321	週	3	便
ソウル = 米子	A321	週	3	便
ソウル = 熊本	A321	週	3	便
	旅客小計	週	119	便
ソウル = 東京	B747-combi	週	(5)	便
ソウル = 大阪	B744F	週	1	便
	B763F	週	1	便
ソウル = 仙台	B744F	週	1	便
	貨物小計	週	3	便
	OZ計	週	122	便

旅客便で計上

韓国側企業旅客便合計	週	249	便
韓国側企業貨物便合計	週	9	便
総合計	週	258	便

日韓双方企業旅客便合計	週	330	便
日韓双方企業貨物便合計	週	14	便
総合計	週	344	便